

ポラボックス

ポーラス護岸・擁壁兼用ブロック

ポラボックス



ポラボックスの特長

- ポーラスコンクリート製箱型構造のブロックで、底板部を設けることにより客土の流出を防止し、また地山からの水分および養分の供給が可能です。
- ポーラスコンクリートの連続空隙には、緑化・生態系回復保全機能があり、排水機能、吸音効果、明度低下などの機能も有しています。
- 急勾配法面においては多段積による施工、緩勾配法面においては平張による施工が可能であるため、様々な条件に対応できます。
- 中詰材として客土、礫、栗石などを使用することができるため、様々な条件および目的に応じた施工が可能です。
- 植物の生育に十分な土量を確保しているため、安定した緑化が期待できます。

護岸ブロック緩勾配規格選定一覧表

ポラボックス(平張)

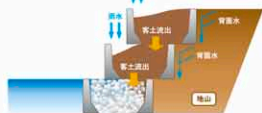
規格	ブロック質量 (kg)	対応流速 (m/s)	明度低減	法面の植生	水際の植生	背後地透水性
P300	324	4.3	○	○	○	○
P350	351	4.5	○	○	○	○
C300	384	4.6	○	○	○	△
C350	416	4.8	○	○	○	△

×：期待できない △：ある程度期待できる ○：期待できる
設計対応流速は護岸勾配1:2.0・設計水深5.0mでの計算値です。

急勾配

従来工法問題点

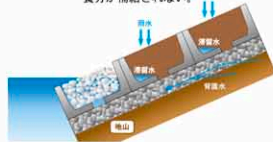
1. ボックス型ブロックの底板部が無く、客土の場合雨水等により沈下流出する。
2. 植生の水分補給が雨水のみとなり土の養分が補給されない。



緩勾配

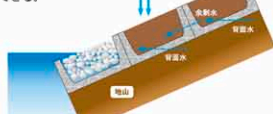
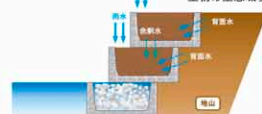
従来工法問題点

1. 水抜き穴のみでは排水できず滞留水が根腐れの原因となる。
2. 植生の水分補給が雨水のみとなり土の養分が補給されない。

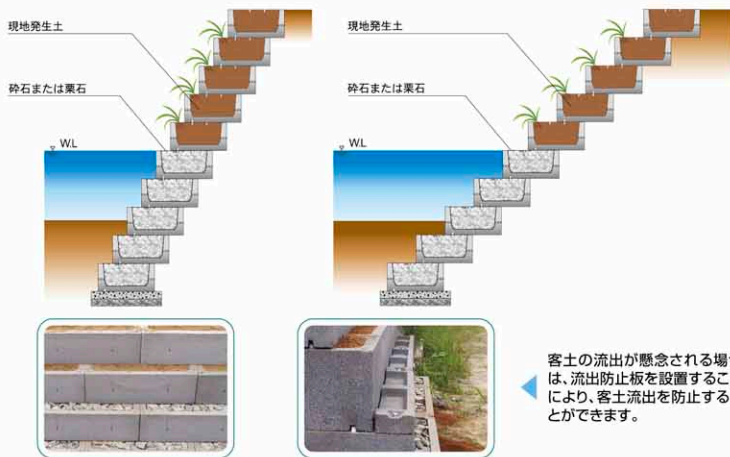


ポラボックス改良点

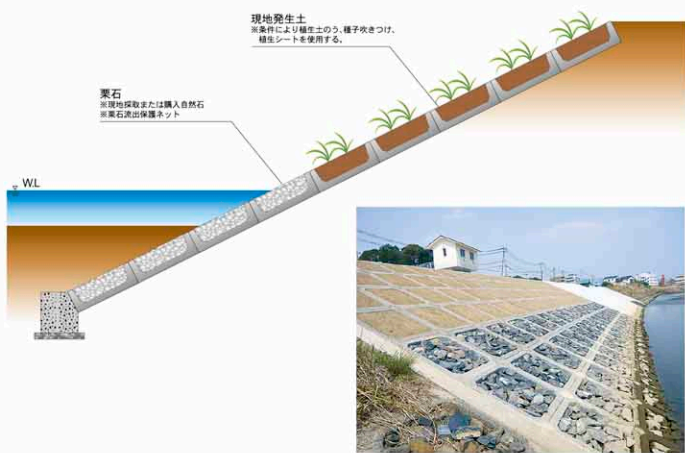
ポーラスコンクリート製品であるため、底板部を設けることができ、客土の流出を防止し地山からの背面水および養分補給を可能とした。また、連続した空隙を確保し、生物の生息環境を快適にすることができる。



急勾配標準断面図



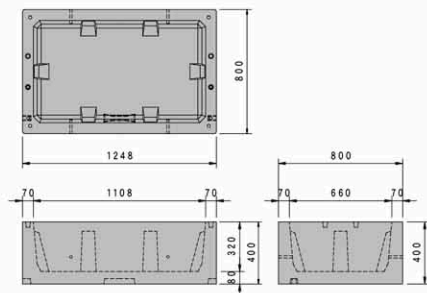
緩勾配標準断面図



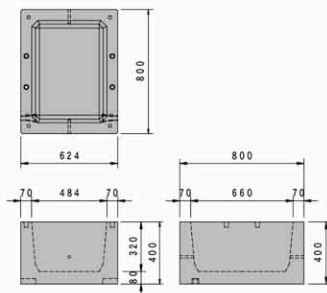
ポラボックス (多段積)

単体図

400型 標準ブロック

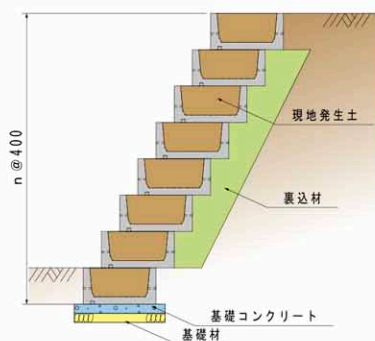


400型 端部ブロック

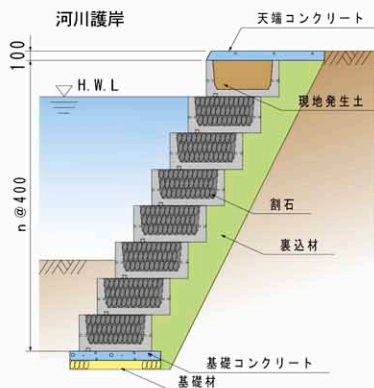


標準断面図

道路擁壁



河川護岸



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	胴込量 (m ³ /個)	備考
400型	標準ブロック	368	1248×800×400	0.209	
	端部ブロック	213	624×800×400	0.091	
	魚巣ブロック	360	1248×800×400	0.209	
流出防止板	35		1248×192×100	—	

製品明度

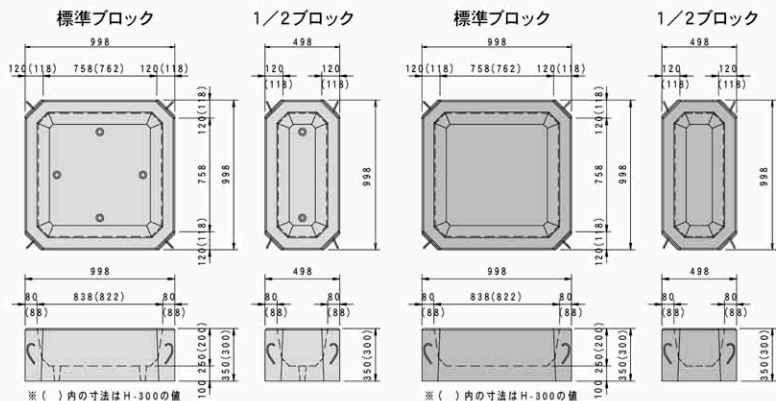
平均明度	5.0
証明書番号	—

ポラボックス (平張)

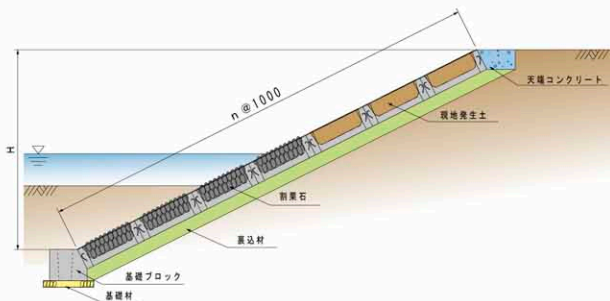
単体図

C350・C300

P350・P300



標準断面図



呼び名		参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	胴込量 (m ³ /個)	備考
P300	標準ブロック	324		998×998×300	0.121	
	1/2ブロック	188		998×498×300	0.043	
C300	標準ブロック	384		998×998×300	0.121	
	1/2ブロック	222		998×498×300	0.043	
P350	標準ブロック	351		998×998×350	0.155	
	1/2ブロック	207		998×498×350	0.056	
C350	標準ブロック	416		998×998×350	0.155	
	1/2ブロック	245		998×498×350	0.056	